欧州委員会

レジリアンスと防災力強化に向けた欧州連合（EU）の協力

© EU 2013- Photo credits: EC/ECHO/Silvio Balladares

主催：欧州委員会

基調講演：
欧州委員会人道援助・市民保護総局
クラウス・ハウゴー・ソーレンセン総局長

政策実行に向けて：
イノベーションと共同体としての備え

イベント詳細：

日時：3月16日（月）、14:00～17:00

会場：仙台市・東北大学川内北キャンパス
マルチメディアホール

入場無料、事前登録不要

使用言語：英語（日本語通訳付き）

お問い合わせ先：
ECHO-A3-SECRETARIAT@ec.europa.eu

人道援助・
市民保護

欧州委員会

14:15 ~ 15:45

政策実行に向けて：
EUとそのパートナーによる主要プロジェクト

■レジリアンスの包括的解説
シルヴィー・モンテンボール　欧州委員会人道援助・市民保護総局地球規模防災専門官
世界各地でさまざまな機関が行う防災・レジリアンスに関する多様な投資を紹介

■気候変動適応、防災およびレジリアンスに向けたEUの統合されたアプローチ
クリスティアナ・パスカ・パルメ　欧州委員会国際協力・開発総局環境・気候変動・天然資源課課長
アフリカ、カリブ海、太平洋（ACP）諸国での取り組みを含む、グローバル気候変動同盟（GCCA）やACP・EU自然災害リスク削減計画の枠組みにおけるパートナー国や準地域機関の成功体験を紹介

■EUの国境を越えた「BaltPrevResilience」プロジェクト
メッテ・リンダール・オルソン　スウェーデン市民緊急事態庁
「BaltPrevResilience」プロジェクトは、スウェーデン市民緊急事態庁（MSB）が調整する、バルト海周辺における日常的な事故や災害の防止および被害の縮小に対応している

■ケニアの乾燥地帯の脆弱な田園共同体のレジリアンス強化に向けた国際協力機構（JICA）とEUの共同戦略
花井淳一　前JICA ケニア事務所次長
同戦略は、これらの人々が、収入を得られる活動を通じてその脆弱性を減少させる一方、干ばつに対する適応能力の強化を目指している

15:45 ~ 17:00

政策実行に向けて：
EUとそのパートナーが開発した主要な手法

■リアルタイム地震減災プロジェクト（REAKT）のための戦略とツール
干場充之　理学博士、気象庁気象研究所地震津波研究部
日本を含む複数のパートナーと実施されているEUの研究プロジェクトREAKTは、地震予知、早期警報およびリアルタイムの脆弱性評価から得られる、全ての情報の共同利用に向けた最良の方法を編み出すことを目指している

■リスク管理指標INFORM
トム・デ・グローヴ　欧州委員会共同研究センター・グローバル安全保障と危機管理課上級科学者
INFORMは、人道的危機や災害のリスクを評価する地球規模のオープンソース指標である。その利用で災害の防止・準備・対応に対する決断を支援することが可能となる

■コペルニクス危機管理サービス
デライラ・アル=クダイリ　欧州委員会共同研究センター・グローバル安全保障と危機管理課課長
コペルニクス危機管理サービスは、災害の防止・準備・対応および救援活動のほか、自然災害、人為的および人道的危機への緊急対応の一助となるための地球空間情報を提供している。同サービスは、地図作成サービスと早期警戒システムで構成される

© EU 2013- Photo credits: EC/ECHO/Silvio Balladares